

解答解説

定期テスト

くもんの 2時間で ニヤンとかができる 中学歴史

中2近代

※〈 〉は別解です。



重要事項 ①

ヨーロッパ・アメリカでの 近代革命の広がり

- ① ① 絶対王政
- ② ピューリタン〈清教徒〉
- ③ 名誉
- ④ 独立
- ⑤ フランス

- ② ① 国王
- ② クロムウェル
- ③ 権利章典〈権利の章典〉
- ④ 独立宣言
- ⑤ 人権宣言

- ③ ① 人権宣言
- ② 独立戦争
- ③ 独立宣言
- ④ 権利章典〈権利の章典〉

- ④ (ウ → イ → ア)

解説

せうニヤンだ

- ① 襲撃のあった7月14日は、フランス革命の記念日になっている。
- ②③ 独立宣言の自由と平等の原則は、先住民族や黒人奴隷には適用されず、南部を中心に奴隷制度が残った。
- ④ 権利章典が出されたころの日本は、徳川綱吉が政治を行っていた。

これだけ 2 重要事項 ②

イギリスの産業革命から資本主義が生まれた

- ① ① 産業
 - ② 資本
 - ③ 社会
- ② ① 蒸気
 - ② 世界の工場
 - ③ 資本家
 - ④ 労働組合
- ③ ① 資本主義
 - ② 社会主義
 - ③ 産業革命

解説 セラニャンだ

- ① 市場経済に基づく資本主義のしくみができあがると、生産と市場の規模は一気に拡大した。
- ② 1848年に出版されたマルクスらの著書『共産党宣言』以後、社会主義の運動は世界に広がった。
- ③ イギリスで始まった産業革命は、19世紀にはフランスやアメリカ、ドイツ、さらに日本にも広がった。ワットが蒸気機関の改良をしていたころの日本は江戸時代で、田沼意次の改革が始まる前にあたる。

これだけ 3 重要事項 ③

ロシアの拡大とアメリカの発展、各国の近代化の動きをおさえよう

- ① ① 南下
 - ② 南北
 - ③ 近代
 - ④ 列強
- ② ① 地中海
 - ② 奴隷解放
 - ③ 欧米
- ③ ① 列強
 - ② 近代化
 - ③ 南北戦争
 - ④ 南下政策

解説 セラニャンだ

- ③ 独立後のアメリカには、ヨーロッパから多くの移民が入り、農業と工業が発達した。南北戦争後は西部の開拓を進め、大国へと発展していった。
- ④ ロシアとアメリカはどちらも急速に領土を拡大し、19世紀には太平洋沿岸に達していた。ロシアは日本の近海にも、通商を求めて船隊を派遣した。

これだけ 4 重要事項 ④

イギリスの清進出の秘策は、アヘンと綿織物だった

- ① ① 三角
 - ② アヘン
 - ③ 南京
 - ④ 太平天国
 - ⑤ インド大反乱
- ② ① イギリス
 - ② アヘン
 - ③ 清
 - ④ 洪秀全
 - ⑤ インド人
- ③ ① 太平天国の乱
 - ② アヘン戦争
 - ③ 南京条約
 - ④ 三角貿易
 - ⑤ インド大反乱
- ④ (ウ → イ → ア → 工)

解説 セラニャンだ

- ③ ① 太平天国の乱は鎮圧されたが、のちの中国の革命運動に大きな影響をあたえた。
- ②③ 南京条約でイギリスは、上海などの5港を開かせ、香港と賠償金を手に入れた。

これだけ 5 重要事項 ⑤

日本に不利な不平等条約の内容をおさえよう

- ① ① 開国
 - ② 日米和親
 - ③ 日米修好通商
 - ④ 領事裁判権〈治外法権〉
 - ⑤ 関税自主権
- ② ① アメリカ
 - ② 下田
 - ③ 井伊直弼
 - ④ 神奈川
- ③ ① 日米修好通商条約
 - ② 関税自主権
 - ③ 領事裁判権〈治外法権〉
 - ④ 開国
 - ⑤ 日米和親条約
- ④ (イ → ウ → ア)

解説 セラニャンだ

- ③ ①② 自由貿易が開始されると、機械生産による安い綿製品が大量に輸入され、国内の生産地は大打撃をうけた。日本からは生糸や茶が大量に輸出され、国内で品不足が起きた。

6 重要事項 ⑥

尊王攘夷運動が高まり、倒幕へつながっていった

- ① 尊王
- ② 攘夷
- ③ 桜田門外の変
- ④ 薩長

- ① 尊王攘夷
- ② 安政の大獄
- ③ 水戸
- ④ 長州

- ① 桜田門外の変
- ② 尊王攘夷
- ③ 長州藩
- ④ 薩長同盟
- ⑤ 安政の大獄

- ④ (イ → エ → ア → ウ)

解説

- ① この事件によって幕府の強硬な方針が挫折すると、幕府は朝廷の権威を利用して主導権を確保しようとして、公武合体の動きを進めた。
- ③④ 欧米の軍事力を実感した薩摩藩と長州藩は、倒幕にむけて態勢を整えていった。

7 重要事項 ⑦

民衆の世直し一揆と幕府の滅亡

- ① 世直し
- ② 朝廷
- ③ 王政復古の大号令
- ④ 戊辰

- ① ええじゃないか
- ② 大政奉還
- ③ 江戸
- ④ 天皇

- ① 王政復古の大号令
- ② 大政奉還
- ③ 戊辰戦争
- ④ 世直し
- ⑤ ええじゃないか

- ④ (エ → イ → ア → ウ)

解説

- ①② 大政奉還は、1867年10月に徳川慶喜が発表。慶喜は天皇のもとに大名が集まる議会を作り、自らはその議長となって実権を持ち続けようと考えたが、同年12月に朝廷が王政復古の大号令を出し、天皇中心の新政府を作ることが示された。

8 重要事項 ⑧

日本の近代国家への変革を明治維新という

- ① 明治維新
- ② 版籍奉還
- ③ 廃藩置県
- ④ 解放令

- ① 五箇条の御誓文
- ② 土地
- ③ 人民
- ④ 藩閥
- ⑤ 四民平等

- ③ ① 廃藩置県
- ② 版籍奉還
- ③ 五箇条の御誓文

- ④ (ウ → イ → ア)

解説

- ①② 版籍奉還によって、全国の土地と人民は国家に属することになり、廃藩置県で旧藩主を行政から切りはなした。これらの大改革で、日本は中央集権国家になった。
- ③ 天皇は五箇条の御誓文の中で、会議を開き、世論に基づいた政治をめざすことなどを明らかにした。

9 重要事項 ⑨

明治政府の改革と文明開化をおさえよう

- ① 殖産興業
- ② 学制
- ③ 徴兵令
- ④ 地租改正

- ① 富国強兵
- ② 官営模範
- ③ 地価
- ④ 文明開化
- ⑤ 太陽暦

- ③ ① 学制
- ② 地価
- ③ 地租改正
- ④ 徴兵令

解説

- ① 各地では江戸時代の寺子屋を引きつぐ形で、わずか数年で2万4000もの小学校が造られた。
- ②③ 1873年のときの地租は3%だったが、農民の税負担は軽くならず、地租改正反対の一揆が相次ぎ、1877年に地租は地価の2.5%に引き下げられた。

10 重要事項 ⑩

条約によって、
国境・領土が確定した

- 1 ① 岩倉使節団
- ② 征韓
- ③ 樺太・千島交換
- ④ 日朝修好
- 2 ① 日清修好
- ② ロシア
- ③ 日本
- ④ 江華島
- ⑤ 琉球処分
- 3 ① 樺太・千島交換条約
- ② 岩倉使節団
- ③ 日清修好条規
- ④ 琉球処分
- ⑤ 日朝修好条規
- 4 (イ → ア → エ → ウ)

解説

- ① 1855年に結ばれた日露和親条約では、樺太について境界が定められていなかった。
- ⑤ 明治政府は朝鮮に開国を求める交渉を進めたが、朝鮮側はこれを拒否したため、武力を背景に朝鮮に開国を迫った。

11 重要事項 ⑪

国会開設を求める自由民権運動と
憲法の成立

- 1 ① 自由民権
- ② 自由
- ③ 立憲改進黨
- ④ 内閣
- ⑤ 大日本帝国
- 2 ① 民撰議院設立
- ② 西南
- ③ 天皇
- ④ 教育勅語
- ⑤ 帝国議會
- 3 ① 内閣
- ② 民撰議院設立の建白書
- ③ 自由民権運動
- ④ 大日本帝国憲法
- ⑤ 帝国議會

解説

- ②③ 自由民権運動の背景には、西南戦争が政府軍に鎮圧され、言論による政治改革の動きが強まっていったことがあげられる。
- ⑤ 帝国議會には、選挙で議員を選ぶ衆議院と、華族や多額納税者らの中から議員を任命する貴族院の二院が置かれた。

12 重要事項 ⑫

軍事力を強め植民地支配を行う、
日本の帝国主義の台頭

- 1 ① 帝国
- ② 領事裁判権〈治外法権〉
- ③ 条約改正
- ④ 欧化
- 2 ① 列強
- ② 甲午農民
- ③ 日清
- ④ 下関
- 3 ① 甲午農民戦争
- ② 日清戦争
- ③ 下関条約
- ④ 領事裁判権〈治外法権〉

解説

- ①② 日清戦争は朝鮮のほか満州南部などが戦場になり、日本軍は各地で清軍を破り、勝利した。
- ③ 下関条約で台湾を獲得した日本は、台湾総督府を置き、植民地として支配した。

13 重要事項 ⑬

清に進出する列強と日本
やがて日露戦争へ

- 1 ① 三国干涉
- ② 義和団
- ③ 日露
- ④ ポーツマス
- 2 ① ロシア
- ② 清
- ③ 日英
- ④ 日本
- 3 ① 日英同盟
- ② 義和団事件
- ③ ポーツマス条約
- ④ 日露戦争
- 4 (イ → ア → エ → ウ)

解説

- ①② 義和団事件以後、ロシアは満州に軍隊をとどめたため、韓国へ勢力をのぼそうとした日本は、ロシアとの対立を深めた。日本は、ロシアとの衝突に備え、日英同盟を結んだ。
- ③ ポーツマス条約では、韓国での日本の優越権が認められるなどしたが、賠償金を得られなかった不満などから、日比谷焼き打ち事件などの暴動が起きた。

14 重要事項 ④

日本の帝国主義化と産業革命

- ① ① 保護国
 - ② 韓国併合
 - ③ 辛亥
 - ④ 清
- ② ① 八幡
 - ② 財閥
 - ③ 南満州鉄道
 - ④ 中華民国
 - ⑤ 三民
- ③ ① 韓国併合
 - ② 三民主義
 - ③ 辛亥革命
 - ④ 中華民国
 - ⑤ 南満州鉄道株式会社 (満鉄)
- ④ (ウ → ア → イ)

解説

- ① 日本は武力を背景に韓国併合を行った。併合後、日本語教育などの同化政策が行われ、朝鮮の人々の日本への反感は強まった。
- ② 三民主義とは、「民族・民権・民生」の三つの主義で、孫文の中国革命理念。

15 重要人物 ①

人民の政治参加をめざした啓蒙思想家たち

- ① ① ロック
 - ② クロムウェル
 - ③ ナポレオン
 - ④ モンテスキュー
- ② ① 人民主権
 - ② ピューリタン (清教徒)
 - ③ 社会契約
 - ④ 三権分立
- ③ ① モンテスキュー
 - ② クロムウェル
 - ③ ナポレオン
 - ④ ロック
 - ⑤ ルソー

解説

- ① 三権分立の考え方は、アメリカの独立戦争でできた合衆国憲法に取り入れられた。
- ② ピューリタン (清教徒) 革命によって樹立した共和制とは、王や皇帝といった君主による統治を否定し、主権が国民にある政治体制のことである。
- ③ ナポレオンは、法のもとの平等や経済活動の自由などを定めたナポレオン法典を制定した。

16 重要人物 ②

社会主義の登場とドイツ・アメリカの発展

- ① ① マルクス
 - ② リンカン
 - ③ ビスマルク
 - ④ ワシントン
- ② ① 独立
 - ② 社会
 - ③ 鉄血
 - ④ 南北
- ③ ① ビスマルク
 - ② マルクス
 - ③ ワシントン
 - ④ リンカン

解説

- ① ビスマルクによって統一されたドイツは、産業も発展し、イギリスに次ぐ強国になった。
- ② マルクスは労働者のために生涯をささげ、その思想は世界中に影響をあたえた。
- ③ ワシントンはアメリカ建国の父として、現在でも人々から尊敬されており、アメリカの1ドル紙幣に肖像がえがかれている。
- ④ 南北戦争後のアメリカは、アジアからも移民を受け入れ、工業も発展。19世紀末には世界最大の資本主義国になった。

17 重要人物 ③

欧米列強のアジア進出と日本の開国

- ① ① ペリー
 - ② 洪秀全
 - ③ 吉田松陰
 - ④ 徳川家茂
- ② ① 太平天国の乱
 - ② 日米和親
 - ③ 日米修好通商
 - ④ 安政の大獄
- ③ ① 井伊直弼
 - ② 洪秀全
 - ③ ペリー
 - ④ 吉田松陰
 - ⑤ 徳川家茂

解説

- ① 井伊直弼の暗殺で、江戸幕府の権威は落ち、その滅亡が早まった。
- ③ ペリーはアメリカ初の蒸気を使った軍艦の建造に成功し、アメリカ海軍の発展に貢献した。
- ④ 吉田松陰は尊王の考えを持ち、明治維新で活躍する人物を教育し、大きな影響をあたえた。アメリカへの密航をくわだてるなど、外国に強い関心を持っていた。

倒幕運動に関わった人々

- ① 西郷隆盛
- ② 木戸孝允
- ③ 高杉晋作
- ④ 坂本龍馬

- ① 廃藩置県
- ② 西南
- ③ 征韓
- ④ 薩長

- ① 木戸孝允
- ② 西郷隆盛
- ③ 大久保利通
- ④ 坂本龍馬
- ⑤ 高杉晋作

解説

- ①⑤ 木戸孝允と高杉晋作は長州藩の藩士。薩摩藩と協力して、幕府をたおそうと考えていた。
- ②③ 西郷隆盛と大久保利通は薩摩藩の藩士。倒幕を進めたが、新政府で征韓論をめぐり対立し、西郷は政府を去った。
- ④ 坂本龍馬は、幕府は政権を朝廷に返すことなどの考え方を「船中八策」という政策で示した。

江戸幕府の滅亡に関わった人々

- ① 岩倉具視
- ② 徳川慶喜
- ③ 後藤象二郎
- ④ 勝海舟

- ① 戊辰
- ② 江戸
- ③ 大政奉還
- ④ 王政復古

- ① 後藤象二郎
- ② 徳川慶喜
- ③ 岩倉具視
- ④ 勝海舟

解説

- ① 後藤象二郎は亀山社中という坂本龍馬が作った商社を、海援隊という土佐藩の組織にして龍馬を支援した。
- ② 徳川慶喜は、鳥羽・伏見の戦いののち謹慎していたが、晩年には貴族院議員にもなった。
- ④ 勝海舟は、幕府のアメリカへの使節を乗せた咸臨丸の艦長として太平洋を横断。幕府海軍の育成に努めた。

明治維新と文明開化を支える人々

- ① 福沢諭吉
- ② 明治天皇
- ③ 伊藤博文

- ① 学問のすゝめ
- ② 内閣制度
- ③ 五箇条の御誓文

- ① 明治天皇
- ② 福沢諭吉
- ③ 伊藤博文

解説

- ① 明治天皇は、自ら率先して近代化を進め、近代立憲君主としての務めを果たし、明治時代の象徴的存在となった。
- ② 福沢諭吉は欧米のようすを伝える一方、封建制を強く批判し、日本を西洋的な文明国にしようと教育に力を注いだ。「天は人の上に人をつくらず」で始まる『学問のすゝめ』は、多くの若者に読まれた。
- ③ 伊藤博文は長州藩の出身で、幕末には倒幕運動で活躍。日露戦争後、韓国の保護国化をはかったが、韓国の青年に暗殺された。

自由民権運動の高まりと国会開設

- ① 植木枝盛
- ② 中江兆民
- ③ 板垣退助
- ④ 大隈重信

- ① 民撰議院設立の建白書
- ② 自由民権
- ③ ルソー
- ④ 立憲改進黨

- ① 中江兆民
- ② 植木枝盛
- ③ 大隈重信
- ④ 板垣退助

解説

- ①② 中江兆民と植木枝盛は、板垣退助と同じ土佐(高知県)の出身。「自由は土佐の山間より発し」といわれるように、土佐は自由民権運動の中心となった。
- ③④ 板垣退助と大隈重信は、1898年に合同で憲政党を結成し、短い期間であったが、日本で初めて政党内閣を組織した。

不平等条約の改正と日清・日露戦争

- 1 ① 小村寿太郎
 - ② 陸奥宗光
 - ③ 東郷平八郎
- 2 ① 日本海海戦
 - ② 関税自主権
 - ③ 領事裁判権 (治外法権)
- 3 ① 東郷平八郎
 - ② 小村寿太郎
 - ③ 陸奥宗光

解説

せうニヤンだ

- ① 日清・日露戦争で活躍した東郷平八郎は、アメリカの雑誌の表紙に掲載されるなど、外国からも注目された。
- ② 日露戦争の前、政府の中にはロシアを敵に回すのは危険だという意見と、イギリスと組んでロシアに対抗すべきだという意見が対立。小村寿太郎は外務大臣として、イギリスとの同盟の利点を説いた。
- ③ 陸奥宗光は、日清戦争を外交面から指導し、勝利に導いた。

戦争反対を訴えた人々と中国の革命家

- 1 ① 孫文
 - ② 与謝野晶子
 - ③ 内村鑑三
 - ④ 幸徳秋水
- 2 ① 大逆
 - ② 日露
 - ③ 辛亥
 - ④ みだれ髪
- 3 ① 内村鑑三
 - ② 幸徳秋水
 - ③ 与謝野晶子
 - ④ 孫文

解説

せうニヤンだ

- ①～③ 日露戦争前、日本国内では多くの有力新聞がロシアと戦うことを主張し、開戦の世論が強まった。一方、経済界は開戦に慎重論を唱え、内村鑑三や幸徳秋水、与謝野晶子らは非戦論を唱えて戦争に反対したが、世論を動かすことはできなかった。
- ④ 孫文は、中国革命を計画して失敗し、日本に亡命。亡命中、東京で結成された清をたおすための組織の代表に選ばれ、熱心な日本の支持者も得た。

お雇い外国人たちと日本の産業発展と課題

- 1 ① 渋沢栄一
 - ② クラーク
 - ③ フェノロサ
 - ④ 田中正造
- 2 ① 札幌農
 - ② 足尾鋳毒
 - ③ 富岡製糸
 - ④ 東京美術
- 3 ① 田中正造
 - ② クラーク
 - ③ フェノロサ
 - ④ 渋沢栄一

解説

せうニヤンだ

- ① 田中正造は、農民と共に鋳山の操業停止と被害者救済を政府に訴えたが、十分な解決をみないまま、運動はおさえられていった。
- ②③ 明治政府は欧米諸国に追いつくため、海外から多くの専門家を招き、彼らの力で近代化への道筋をつけようとした。こうして来日した、クラークやフェノロサのような人々のことを「お雇い外国人」という。

欧米文化を取り入れた日本の新しい美

- 1 ① 滝廉太郎
 - ② 高村光雲
 - ③ 黒田清輝
 - ④ 横山大観
- 2 ① ロダン
 - ② 東京美術
 - ③ 洋楽
 - ④ 日本美術
- 3 ① 高村光雲
 - ② 滝廉太郎
 - ③ 黒田清輝
 - ④ 岡倉天心
 - ⑤ 横山大観
 - ⑥ 荻原守衛

解説

せうニヤンだ

- ③ 明治時代は、日本の芸術家たちが西洋の近代美術を積極的に取り入れると同時に、日本の伝統文化とは何かを深く追求した時代でもあった。

話し言葉のまま文章を書く「言文一致」の文学が広がる

- 1 ① 石川啄木
 - ② 夏目漱石
 - ③ 樋口一葉
 - ④ 森 鷗外
-
- 2 ① 自然主義
 - ② 言文一致
 - ③ 吾輩は猫である
 - ④ ロマン
-
- 3 ① 樋口一葉
 - ② 石川啄木
 - ③ 二葉亭四迷
 - ④ 森 鷗外
 - ⑤ 島崎藤村
 - ⑥ 夏目漱石

解説 せうぎんぱ

3 明治時代には、古い価値観にとらわれず、人間のありのままの姿に迫ろうとする近代的な文学観がおこった。これを提唱したのが坪内逍遙で、次いで二葉亭四迷が、話し言葉で表現する言文一致体を確立させた。

学制が女子教育を広げ、自然科学を発展させた

- 1 ① 北里柴三郎
 - ② 長岡半太郎
 - ③ 津田梅子
 - ④ 野口英世
-
- 2 ① 女子英学
 - ② 破傷風
 - ③ 黄熱
 - ④ 原子
-
- 3 ① 北里柴三郎
 - ② 野口英世
 - ③ 長岡半太郎
 - ④ 津田梅子

解説 せうぎんぱ

3 ①～③ 明治時代は、学問ではドイツの影響を強く受けた医学や哲学が発達。物理学や化学をはじめとする自然科学の研究も進み、世界で最先端の研究や発見が生まれた。
④ 明治初期に学制が制定され、国民への教育の基礎が固まった。また、小学校だけでなく中等、高等教育も拡充され、女子の教育も重視されるようになった。

テスト 1 表や図・地図を使った問題 重要用語は表や図で整理できごとと場所は一緒に覚えよう

- 1 ① A 清(中国)
B インド
 - ② 産業革命
 - ③ アヘン戦争
 - ④ 南京条約
 - ⑤ ウ
 - ⑥ インド大反乱
-
- 2 ① イ
 - ② エ
 - ③ 井伊直弼
-
- 3 ① 大政奉還
 - ② 戊辰戦争
 - ③ 五箇条の御誓文
 - ④ 大日本帝国憲法
 - ⑤ 日清戦争
 - ⑥ 日露戦争
-
- 4 ① 黒田清輝
 - ② 森鷗外
 - ③ 夏目漱石
 - ④ 北里柴三郎
 - ⑤ 野口英世

解説 せうぎんぱ

1 ⑤ 享保の改革は1716年、寛政の改革は1787年、天保の改革は1841年から、それぞれ行われた。
2 地図中の、アは横浜、イは浦賀、ウは下田、エは函館、オは新潟、カは神戸、キは長崎を示す。

テスト 2 資料の一部・写真や絵を使った問題 資料のキーワードに気をつけよう 写真・絵があるものはチェックしよう

- 1 ① 権利章典(権利の章典)
 - ② 独立宣言
 - ③ 人権宣言
-
- 2 ① 五箇条の御誓文
 - ② ウ
 - ③ 官営模範工場
-
- 3 ① 文明開化
 - ② (例)ガス灯がついた。
(例)洋服を着るようになった。
 - ③ 福沢諭吉
-
- 4 ① イ
 - ② 伊藤博文
 - ③ ウ
 - ④ (例)不平等条約を改正すること。
 - ⑤ 征韓論

解説 せうぎんぱ

1 欧米諸国の市民革命は、ロック、モンテスキュー、ルソーらの啓蒙思想から大きな影響を受けた。
2 ② アの徴兵令は1873年、イの大政奉還は1867年、エの西南戦争は1877年のできごと。
3 ①②これは錦絵で、大都市の文明開化のようすをほかの地域に伝えるために作られた。
4 岩倉使節団は欧米12か国を訪問。政府の有力者の約半数が参加した、大規模な使節団であった。

テスト

3

用語の意味を選ぶ問題

用語→意味が
答えられるようにしましょう

- 1 ① ナポレオン
 ② リンカン
 ③ 南京条約
 ④ インド大反乱
- 2 ① イ
 ② ア
 ③ イ
 ④ イ
 ⑤ ア
- 3 ① ウ
 ② イ
 ③ エ
 ④ ア
- 4 ① ○
 ② ×
 ③ ×
 ④ ○
 ⑤ ×
 ⑥ ○

解説

せうニヤンだ

- 1 ②ワシントン、アメリカの初代大統領。
 2 二つの条約の内容を、整理しておこう。
 3 漢字の意味からも、改革の内容を理解することができる。
 4 ②生麦事件ではなく江華島事件。③樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。
 ⑤三国干渉はイギリスではなくフランスが行った。

テスト

4

用語の意味を説明する問題

「なぜ?」「どんな意味?」を
いくつかのキーワードで説明しよう

- 1 ① 蒸気
 ② 産業
 ③ 工場
 ④ 資本
 ⑤ 社会
- 2 ① 日清修好
 ② 日朝修好
 ③ 樺太・千島交換
- 3 ① 民撰議院設立
 ② 西南
 ③ 自由
 ④ 立憲改進黨
- 4 ① 義和団事件
 ② 日露戦争
 ③ アメリカ
 ④ ポーツマス条約

解説

せうニヤンだ

- 1 イギリスの工業生産ののびは国家の経済力、軍事力を増大させ、ヨーロッパの力を全世界に広げた。
 2 その後、政府は国際的な決まりに従い、尖閣諸島を1895年に沖縄県、竹島を1905年に島根県に編入して日本の領土とした。
 3 国会開設の動きとともに、政府は伊藤博文が中心となって、憲法制定の準備に取りかかった。
 4 日露戦争は日清戦争と比べて非常に大規模な戦争となり、満州を中心にはげしい戦いが行われた。